

読む

物語の人物像を読み取る(1)

名前

物語では文章の最初の方に、主人公の名前や見た目、性格や考え方などいろいろなことが書かれています。この主人公が**どんな性格なのか？** **何が得意なのか？** **今の様子はどんなだ？** などを分かって読むことはとても大事なことです。

次の文章は、それぞれの物語の最初の部分をぬき出したものです。その中から主人公のことについて書いていることを読み取ってみましょう。

やってみよう

木に白い美しい花がいっぱい咲きました。木は自分のすがたがこんなに美しくなったので、うれしくてたまりません。けれどだれひとり、「美しいなあ」とほめてくれるものがないので、つまらないと思いました。木はめったに人の通らない緑の野原の真ん中にぼつんと立っていたのであります。

木はどこに立っていますか。

[Blank box for answer]

木はなぜうれしくてたまらないのですか。あてはまるものにつけましょう。

- * 自分のすがたが美しくなったから ()
- * 友だちがあいにくしてくれたから ()

木はだれかにしてほしいことがあります。それはどんなことですか。あてはまるものにつけましょう。

- * 「さみしくない」と声をかけてほしい。()
- * 「美しいね」とほめてほしい。()

上の部分で出てくる人物は何人ですか。

人 [Blank box for answer]

おじいさんにとって、古だぬきはどんなたぬきですか。あてはまるものにつけましょう。

- * やさしい ()
- * わるい ()
- * えらい ()

前の問題でそう答えたのはなぜですか。考えのもとになった部分を上の文章から選び、線を引きましょう。

自分が「木」になっ
たつもりで読んで
いくと気持ちも想
像できるね。



(新美南吉「木の祭り」より)

やってみよう

むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。おじいさんがいつも畑に出て働いていますと、うらの山から「びぎの古だぬきが出てきて、おじいさんがせっかく丹精をしてこえた畑のものをあらした上に、どんどん石ころや土くれをおじいさんのつしろから投げつけました。おじいさんがおこって追っかけますと、すばやく逃げて行ってしまいます。しばぶくするとまたやって来て、あいかわらずいたずらをしました。

(楠山正雄「かちかち山」より)

上の文に直接書いてね



読む

物語の人物像を読み取る(1)

名前

こたえ

物語では文章の最初の方に、主人公の名前や見た目、性格や考え方などいろいろなことが書かれています。この主人公が**どんな性格なのか？** **何が得意なのか？** **今の様子はどんなだ？** などを分かって読むことはとても大事なことです。

次の文章は、それぞれの物語の最初の部分をぬき出したものです。その中から主人公のことについて書いていることを読み取ってみましょう。

やってみよう

木に白い美しい花がいっぱい咲きました。木は自分のすがたがこんなに美しくなったので、うれしくてたまりません。けれどだれひとり、「美しいなあ」とほめてくれるものがないので、つまらないと思いました。木はめったに人の通らない緑の野原の真ん中にぼつんと立っていたのであります。

木はどこに立っていますか。

めったに人の通らない緑の野原の真ん中

木はなぜうれしくてたまらないのですか。あてはまるもの に をつけましょう。

- * 自分のすがたが美しくなったから ()
- * 友だちがあいにきてくれたから ()

木はだれかにしてほしいことがあります。それはどんなことですか。あてはまるもの に をつけましょう。

- * 「さみしくない」と声をかけてほしい。 ()
- * 「美しいね」とほめてほしい。 ()

上の部分で出てくる人物は何人ですか。

3人

おじいさんにとって古だぬきはどんなためきですか。あてはまるもの に をつけましょう。

- * やさしい ()
- * わるい ()
- * えらい ()

「こらや土くれをおじいさんのつしろから投げつけました。おじいさんがおこって追っかけますよ。すばやく逃げて行ってしまいます。しほはびくすぶるとまたやって来て、あいかわらずいたすらをしました。」

(楠山正雄「山」かちかす山「よろ」)

やってみよう

自分が「木」になっ
たつもりで読んで
いくと気持ちも想
像できるね。



(新美南吉「木の祭り」「より」)



上の文に直接書いてね

前の問題でそう答えたのはなぜですか。考えのもとになった部分を上の文章から選び、線を引きましょう。



ここがポイント

物語には、多くの場合、最初の方に「主人公の見た目や性格、考え方など」が書かれています。

なぜかというと、物語は、その主人公がいろいろな出来事を通して、成長したり、考え方が変わったりと変化を描くことが多いからです。ですから、主人公の人物像をとらえることは、物語を読む上で、とても大切なことなのです。



やってみよう①

ここでは、文章を読んでいくとわかることが問題になっています。主人公のいる場所、様子、会話やひとりごとなどは見つけやすいものなので、しっかりチェックしておきます。

「木」は人ではありませんが、この物語では登場人物となります。人ではなくても、物語に出てくるもので、おしゃべりをするものはすべて登場人物だと考えていいですよ。もし、あなたが作った物語で、消しゴムがしゃべったら、それでも登場人物です。



やってみよう②

ここでは、みなさんがよく知っている昔話をみてみます。文章の中から次のようなことが分かります。

- ・いつ…むかしむかし
- ・どこで…あるところ
- ・だれが…おじいさんとおばあさん
- ・どうした…すんでいた
- ・おじいさんが畑で働いているとためきが出てきた。
- ・ためきは、畑のものを荒らした。
- ・ためきは、おじいさんに石や土を投げつけた。
- ・おじいさんが追いかけるとためきはすばやく逃げた。
- ・ためきは、しばらくするとまたやって来ていたずらをする。

登場人物は、おじいさんとおばあさんと古だめきです。答えは三人でも二人と一ぴきのどちらでもかまいません。

ためきの行動から「わるい」を選んだと思います。そう思ったわけは、必ず「文章の中のココだ!」と言えるようにしましょうね。



様子や行動を表す言葉とは

様子を表す言葉には次のようなものがあります。

ゆっくり いそいで
おいしそうに びくびく
ゆらゆら こわこわと
のようになど

行動を表す言葉は実際にしたことを言葉にしたものです。

飛びこんだ うつむいて
にぎりしめる のみほす
天をあおぐ 走りぬげる

これらの言葉には、登場人物の気持ちや性格が表れています。

たとえば、「にぎりしめる」という言葉は「にぎる」よりも強い感じがしますね。

さらに、「母にもらったお守りをぎゅっとにぎりしめて…」となる、母への思いが「ぎゅっと」という言葉でさらに強く感じます。

このようにして、書かれている言葉を自分の経験に置きかえて考えていくと、人物像が見えてくるようになります。